

平成25年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）次年度使用申請書

平成 年 月 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

所属研究機関・部局・職
研究代表者
氏 名 印

機関番号					
------	--	--	--	--	--

研究者番号									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成24年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究種目名を記入）について、研究費に未使用額が生じたので、下記のとおり次年度使用を申請します。なお、当該未使用額は補助事業を誠実に遂行した結果生じたものであり、平成25年度に使用することによって、より研究が進展することが見込まれます。

記

1. 課題番号

--	--	--	--	--	--	--	--

2. 研究課題名 _____

3. 研究期間 平成 年度～平成 年度

4. 平成24年度補助金の使用状況（直接経費のみ）

平成24年度既受領額（直接経費のみ） _____ 円・・・①

平成24年度支出済額（直接経費のみ）※ _____ 円・・・②

平成24年度未使用額（直接経費のみ） _____ 円・・・③=①-②

※平成24年度繰越承認申請を行っている場合、繰越承認額も含めて記入すること。

5. 次年度使用希望額（直接経費のみ） _____ 円・・・④ ≤ ③ × 0.9

6. 次年度使用に至る経緯（①・②のどちらか該当する項目にチェック等すること。）

① 繰越制度の要件に合致せず繰越制度を利用できない研究費

① 繰越制度の要件に合致せず繰越制度を利用できない研究費

↳

- 調達方法の工夫などにより、当初計画より経費の節約ができたため。
- 身内の不幸等により当初計画していた事業ができなかったため。
- 親族の介護や子の養育により当初計画していた事業ができなかったため。
- その他（理由を以下のカッコ欄に簡潔に記入すること。）

[_____]

② 繰越申請期限（平成25年3月2日以降）を過ぎた後に、繰越事由が発生し、年度内使用が困難になった研究費（「繰越事由一覧」から以下の項目を記載すること。）

繰越事由： _____

該当する事例（最も近いもの）： _____

変更後の計画の類型： _____